

2019年12月10日 6面

文字サイズ 小 中 大 [ブックマーク](#) [印刷](#) 

大林道路／濱田道博副社長らが福島県内で安全パト実施／女性社員も参加



大林道路の濱田道博代表取締役副社長は4日、福島県広野、浪江両町で同社が担当している「2019年度双葉地区6号維持補修工事」（東北地方整備局発注）の現場を訪れ、安全パトロールを行った。東北支店から安孫子敬美支店長ら幹部も同行。同支店釜石営業所の鎌田真由子工事長ら女性社員3人も参加し、女性ならではのきめ細かな視点で現場の安全対策を確認した。

現場で安全確認する一行

安全パトロールは建設業労働災害防止協会（建災防）が提唱する19年度の「建設業年末年始労働災害防止強調期間」（12月1日～20年1月15日）に合わせて実施。現場では除草作業中に小石などが飛散しないようにするためのネット設置や、草刈り機を使う作業員が保護具を完全着用しているかなどを点検した。

パトロール後、講評した濱田副社長は強風時の除草作業の安全対策を検討するよう呼び掛けた。女性社員からは「作業員の方から元気に挨拶を返していただいて感じがよかった」という意見が出た。

[閉じる](#)

記事ID：3201912100607

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます